

そらのとり

岩見沢聖十字幼稚園だよりNo. 5

2020年10月23日発行



10月の聖句 『見よ、兄弟が共に座っている。なんという恵み、なんという喜び』

(詩編・133:1)

この9月から、わたしの住んでいる住居の庭に、からだの半分ほど白いスズメが来るようになりました。毎日、「きょうも、白いスズメはきているかな」と窓のカーテンをそっと開ける日々が続いています。

イエスさまは言われました、「空の鳥をよく見なさい。種も蒔かず、刈り入れもせず、倉にも納めもしない。だが、あなたがたの天の父は鳥を養ってくださる。」

十羽ほどの集団で訪れるスズメたち、その一羽である白いスズメを何ら特別視せずに、仲良く草の小さな種をついばんでいる光景に慰めを得ています。

神様のご配慮、お守りを思わずにはいられません。

わたしにとって、この小さな発見は

「共にあること」の恵み、喜びを想起させてくれます。

チャブレン 司祭 池田亨



Apple 社のデザインの源



園長 菊地 和子

先日 TV で、Apple 社の共同設立者の一人であるスティーブ・ジョブスが、若いときから日本の新版画をずーっと集め続けていたということを知りました。

新版画は江戸時代の浮世絵の技法を受けて明治・大正時代に発展した版画のことです。ジョブスがコツコツと買い集めた作品はどれもとてもシックで美しく、その美的感覚が Apple 社の製品作りに生かされているということでした。

そのこと自体もとても興味深かったのですが、私が考えさせられたのは、ジョブスがどこで新版画に出会ったかということです。子どもころ、一緒に機械を分解したりして遊んだ親友の家のリビングに、新版画が飾ってあったのです。友達のお母さんが日本美術の研究者だったそうで少年ジョブスは日常的にその絵を見て、美しさに引き込まれていったのです。

そんな風に子ども時代、偶然身近にあるものがその後のその人を形作っていくんですね！ジョブスの場合はそれが Apple 社の熱烈なユーザーを作り、世界までも変えていったのです！・・・友達のお母さん、ファインプレーですね。幼稚園職員も保護者の皆さんも、いろいろな分野の研究者です。子どもたちにはやはり、いいものを提示していきたいですね。おもちゃや絵本を一生懸命研究している先生方の姿に、希望の光を感じています。

10月20日(火) 今年から毛陽町の東井果樹園さんにお世話になることに
なりました。

毛陽の秋のすばらしさを満喫！リンゴ狩り



分産ちゅーりんさん
ひよこさん
2台のバスで
お出かけ
です。
いい
天気!!
先国宗の
作業もきれい
だと思っ
て見
てみ
ましたが、
空知は
寒暖差が
大きい
赤、黄、
緑の色が
濃く鮮やか
で色鮮やか
なもの
がすご
くきれいで
した!!
みんな
ワクワク
しながら
東井果樹
園さんに
到着。
さいまに
りんごの
実ばかり
もぎ
て、ねい
に教えて
下さった
ので、と
てもわか
りやすか
らたです。

ちゅーりんさんとひよこさんは
先生たちが一人づつリンゴを
もいでもらってました。
おいしい大きなリンゴを
お鼻をくっつけて「いいにおい」と
みんな大よろこびです。

実現できたお買い物ごっこは工夫がいっぱい



みんなの献金

1 学期、毎週月曜日の礼拝の時に子どもたちが小さなお財布から献金してくれ
た大事なお金ですが、ネパールで診療所を作り、子どもたちのために働く前園医の樫戸健次郎先
生(どさんこ海外保険協力会)に14,108円を、また、タンザニアの母子のために働く、助産師
で前園長の娘さんの雨宮春子さん(グレースの会)に14,108円を送りました。
また、岩見沢鋳物株式会社様から幼稚園に寄付を頂いていましたので、オゾン殺菌器の購入に
充てさせていただきました。また、今年のTシャツの売り上げから、遊具の周りや畑を耕す耕運
機を買わせていただきました！残りは砂を買い足す予定です。本当にありがとうございました。